

採用の流れ

試験案内はホームページからダウンロードしてください
https://www.nagoya-shakyo.jp/houjin/staff_shakyo.php



採用案内 令和2年度募集概要【令和3年4月採用予定】

試験区分	事務(総合職)
採用予定人数	若干名 [採用実績:平成30年度12名、平成31年度10名、令和2年度17名]
受験資格	平成2年4月2日以降に生まれた方。 ※次のいずれかに該当する方は受験できません。 ①禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者 ②日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
主な勤務場所等	名古屋市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会、高年大学鯉城学園、とだがわこどもランド、障害者・高齢者権利擁護センター、成年後見あんしんセンター、法人後見センターなごやかぼーと、高齢者虐待相談センター、障害者虐待相談センター、障害者差別相談センター、児童館、福祉会館、名古屋市障害者雇用支援センター、社会福祉研修センター、名古屋市シルバー人材センターなどにおいてそれぞれの業務に従事します。
初任給(大学卒)	約200,600円(令和2年4月1日予定) 上記の初任給は、給料月額に地域手当を加えたものです。
勤務条件	諸手当 扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当、期末手当、勤勉手当等 (※令和元年度の期末手当・勤勉手当の実績は4.5ヵ月分) 勤務時間 8時45分から17時30分まで(勤務場所によって異なる場合あり) 休日休暇等 ●休日:土・日・祝日、年末年始(勤務場所によって異なる場合あり) ●休暇:年次休暇(年20日)、特別休暇(結婚、ボランティア休暇など)、産前産後休暇、臨時休暇など ●その他:育児休業、育児短時間勤務、介護休業、介護短時間勤務など

第1次試験日: 令和2年6月20日(土)

社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館5階
TEL:(052)911-3192 FAX:(052)913-8553
<https://www.nagoya-shakyo.jp/>

な～や

本会設立60周年をきっかけに、誰からも親しまれるマスコットキャラクターのデザインと名称を公募により募集。420作品の中から選ばれました。本会が進める取り組みなどを市民の方に分かりやすくPRします。



※就職情報サイト「マイナビ」でも本会採用情報を掲載していますので、ぜひご覧下さい。

(令和2年3月1日発行)



令和3年4月
採用予定

THINKING
ACTION!

名古屋市民の笑顔のために

総合職採用案内

社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会



名古屋市社会福祉協議会とは

昭和26年に設立した名古屋市社会福祉協議会では、大人も子どもも、高齢者も、障がいのある人も、ない人も、誰もが地域の中で役割を持ち、お互いに尊重し支えあえる人間関係豊かなまちづくりを進めるため、民間組織としての「自主性」と、地域の方々、社会福祉関係者に支えられた「公共性」を活かしながら、地域の様々な社会福祉関係者と連携・協力していくことで、福祉問題の解決及びわたしたちの使命である「誰もが安心して笑顔で暮らす福祉のまち名古屋」の実現を目指しています。



！そもそも社会福祉協議会とは！？

- 1 社会福祉法第109条、110条に基づいた公共性・公益性の高い民間の社会福祉法人です。
- 2 「地域福祉の推進を図ること」を目的としており、社会福祉事業の企画・実施や普及・啓発などを行っています。
- 3 地域の福祉施設、民生委員・児童委員、自治会・町内会、ボランティア団体といった社会福祉関係者によって構成されています。
- 4 全国、都道府県・指定都市、市区町村に設置されています。
- 5 その名称から、通称「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。【例：名古屋市社会福祉協議会→名古屋市社協(なごやししゃきょう)と呼ばれています。】

本会会長 河内尚明からのメッセージ



福祉人材の確保は国を挙げての課題であり、福祉の仕事を目指す皆様はいわば輝く「金の卵」です。これからの人口減少社会を迎え、「地域共生社会」をキーワードに私たちの暮らしを支える福祉のあり方が大きく見直されています。そうした中で「福祉のまちづくり」に直接関わることができ、地域の人とともに成長ができる「社会福祉協議会」の仕事が、今、改めて脚光を浴びています。「人のために何かしたい!」という熱いハートと、人の話をじっくり聞けて、柔軟な考え方を持った方、私たちとともに明るく元気に笑顔あふれる名古屋をつくっていきませんか。



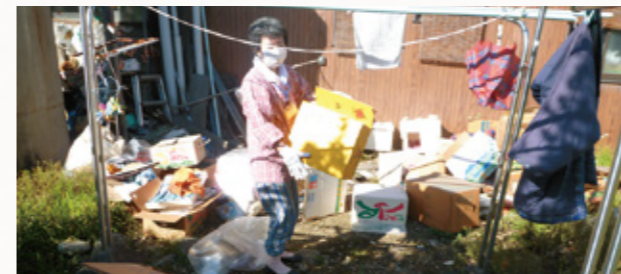
名古屋市社会福祉協議会の取り組み

本会は、子どもから高齢者まで、また障がい者も含め様々な取り組みを行っています。各事業の詳細については、ぜひHPをご覧ください。
(<https://www.nagoya-shakyo.jp/houjin/outline.html>)



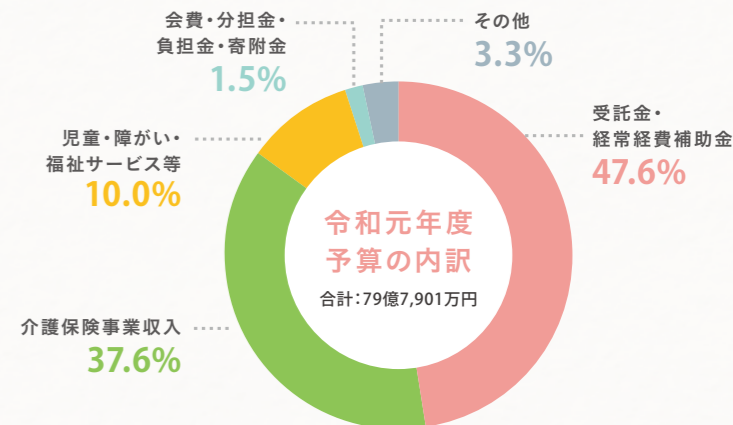
- 地域福祉推進協議会事業の支援
(ふれあい給食サービス事業・ふれあいネットワーク事業等)
- ボランティアセンター事業
- 災害時のボランティア活動の支援
- 名古屋市子ども食堂推進事業
- 地域福祉リーディングモデル事業
- 高齢者はつつつ長寿推進事業
- 名古屋市地域支えあい事業

「ボランティアによる生活支援(高齢者の家の片づけ手伝い)」
地域住民の方が、地域でボランティア活動などに参加することで、地域が抱える公的制度では解決できない様々な課題(例:ごみ出し、買い物の手伝い、電球の取り替えなど)を解決する力を活性化する事業です。小学校区内で抱える様々な課題を地域住民自身が解決する仕組みづくりを支援しています。



- いきいき支援センター(地域包括支援センター)事業
- 高齢者見守り支援事業
- 名古屋市認知症相談支援センター事業
- 在宅福祉サービス事業
- 福祉サービス苦情相談事業
- なごや・よりどころサポート事業
- 名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター事業
- 名古屋市高齢者サロンの整備等生活支援推進事業
- ふれあい・いきいきサロン活動の支援

高齢者や障がい者、子育て中の親子などが、身近な場所で気軽に仲間づくりや生きがいづくりを行い、地域でいつまでもいきいきと暮らせることを目指す交流活動の推進を支援しています。



- 障がい者・認知症高齢者権利擁護事業
- 成年後見あんしんセンター
- 法人後見センターなごやかぼーと
- 高齢者虐待相談センター
- 障害者虐待相談センター
- 障害者差別相談センター
- とだがわこどもランド
- 名古屋市障害者雇用支援センター
- 高年大学鯉城学園
- 総合社会福祉会館

Interview 01

名古屋市西区社会福祉協議会

主事
五百田 裕介 (いおた ゆうすけ)

愛知教育大学 教育学部卒
2017年4月採用

会って話すから「見えるもの」がある。

子育て支援でかわりのある、あかつき保育園の園長より

私たちは西区で子育て支援活動を展開していますが、社協の方々には私たちの取り組みが円滑に進むように常にサポートしていただき、とても心強い存在だと感じています。なかでも五百田さんはとにかくフットワークが軽い。クリスマス会でも率先してトナカイ役を務めるなど、どこにでも顔を出し、人とのつながりを大切にしているのが伝わってきます。

WORK

どのような仕事をしていますか？

社協には子どもから高齢者まで幅広い分野の業務がありますが、私が担当している業務の中で中心となるのが子育て支援です。西区で行われている子育てサロン「もこもこ」の運営をサポートするため、定期的にサロンに顔を出しているほか、子育て情報誌「ぼかぼか」の作成や配布、さらには月1回開催する西区子育て支援会議の進行や議事録作成なども行っています。このほかにも、福祉体験を通じて障がい者への理解を深める活動も担当しており、学校側の依頼を基に地域ボランティアや講師をしてくださる障がい当事者の方と調整を行い、障がい者の方によるお話し会や、車椅子体験、手話体験なども開催しています。



SCHEDULE

一日のスケジュール

- 08:30 出社・1日の予定確認
- 08:45 始業
- 09:00 朝礼
- 09:30 子育て情報誌「ぼかぼか」の配布業務
あかつき保育園を訪問
- 12:00 昼休憩
- 13:00 職員に関する健康診断受診日のとりまとめ
事務作業
- 15:00 福祉教育の打ち合わせの準備・確認
- 15:30 小学校での福祉教育の打ち合わせ
- 17:00 福祉教育の打ち合わせ議事録の作成
- 17:30 退社



TOPIC

社協で働く魅力は？

大学時代に天白区役所と名東区社協で実習をしましたが、区役所に比べると社協の方が積極的に地域に出ていく点に違いがあると感じました。私は、事務所内でじっと作業をしているより、地域に出かけて様々な人と直接話をするので、地域が抱える課題を解決したいと考えていました。また、区役所の場合、法律や条例による制約が多い印象でしたが、社協は比較的融通が利き、自分なりの手法を考えて問題を解決に導いていける点も魅力でした。実際、子育てサロンのボランティア養成講座を行う際、チラシを作りたいと上司に相談した時も、「自分の思うようにやってみていいよ！」と賛同してくれるなど、前向きに応援してくれる環境が整っていると感じます。



MESSAGE

学生へのメッセージ

自分がやりたいことを素直に突き詰めてもらいたいです。私自身、就活の時には誰よりも「社協で働きたい」という強い気持ちを持っていましたし、面接時にもその思いがにじみ出ていたのではないかと思います。まだ入職1年目ですが、自分がやりたいことを仕事にすれば、こんなにも人生が楽しく豊かになるんだと日々実感しています。皆さんも妥協せずやりたいことを目指してもらえればと思います。社会人になることに不安を感じる方もきっと少なくないでしょう。ただ、新人であれば分からないことが多いのは周囲も十分理解しています。特に社協はサポートして下さる先輩がたくさんいますから、ぜひ社会人になることを楽しみにしてもらいたいです。



！社協の特徴・強み

本会は、行政機関(役所)ではありません。非営利の民間組織で、公共性・公益性の高い団体です。そのため、特定の対象・問題だけを目的にせず、あらゆる生活課題への対応(経済困窮、ひきこもり、孤立、虐待、権利侵害など)や他の事業所では対応しにくい課題に対する相談支援・事業への取り組みを行っていることが特徴の1つです。瞬時に地域に向かい出ているフットワークの軽さを武器に、幅広い事業と人材を擁する総合力を活かして、他機関等とのネットワークづくりを行いながら、様々な福祉課題の解決を目指しています。



(所属・役職は平成30年3月現在)

訪問先での「ありがとう」が私の原動力。

いきいき支援センター長より

年齢がとても離れた高齢者とお話をするわけですから、最初は不安や戸惑いもあると思います。だからこそ私たち先輩職員も、地域に溶け込みやすいように一緒に同行したり、話しやすい雰囲気を作るように配慮しています。また、最初は何をすればいいのかわからず、立ち止まってしまうことも少なくありません。そこで、何かに悩んでいるようなそぶりが見えた時には、私たちの方から積極的に声を掛けるようにしています。

訪問先の利用者さまより

守山区東部いきいき支援センターのお2人は本当に最高です！私に何かあつてはいけないと心配し、定期的に訪問してくれますので、こちらも安心して暮らせます。食事の面にも気を配っていただき本当に助かっていますね。いつも親身になって話を聞いてくださり、「今度はいつ来てくれるかな?」と待ち遠しく思っています。

WORK

どのような仕事をしていますか？

65歳以上の一人暮らしの高齢者と、75歳以上の高齢者のみ世帯を対象にした見守り支援を担当しています。名古屋市社協が受託している市内18カ所のいきいき支援センターにはそれぞれ一人ずつ見守り支援員が配置されていますが、私はその支援員の一人として、対象者が地域で孤立しないように見守りのネットワークを構築するための支援活動を行っています。必要に応じて介護サービスへのつなぎ役を担うほか、近隣住民や新聞配達員の方などに見守りをお願いするなど、異変があればすぐに連絡が入るような仕組みづくりなどに力を注いでいます。対象者の中には、周囲とうまく人間関係が築けない人もいますが、笑顔で傾聴に徹するなど、信頼を寄せてもらえるような接し方を心掛けています。



SCHEDULE

一日のスケジュール

- 08:30 出社・メールチェック
- 08:45 始業
- 09:00 朝礼・仕事の流れを確認
- 10:00 支援対象者のご自宅を訪問
- 12:00 昼休憩
- 13:00 デスクワーク
多職種連携のマニュアルづくり
支援サービスの調整業務など
- 16:00 緊急の訪問(安否確認)
- 17:00 経過記録の作成
- 17:30 退社



TOPIC

周りのサポートはどうですか？

私が担当するケースの中には、ご自宅がごみ屋敷のような状態だった方が、定期的に訪問するうちに心を開いてくださり、通常の生活を取り戻すことができたケースもあります。ただ、このようにすべてが上手く進んでいくわけではありません。時には生死に関わる責任の大きな仕事だけに、最初は「私には荷が重い」と感じることもありました。そんな時には、上司と一緒に働く専門職の皆さんが、訪問に同行してくれたり、分からないことを教えてくれたりと、常に優しく接してくださって本当に助けられました。また、新人教育も充実していて、特に1年目は研修の機会が頻繁に設けられています。同期の職員と顔を合わせる機会も多く、他部署で頑張る仲間の姿に刺激を受けることも多かったです。



MESSAGE

学生へのメッセージ

入社する前は、社会人としての一歩を踏み出すことに大きな不安を感じていました。ただ、実際に働き出してみると、学生時代に想像していたのと全く違い、想像以上に「仕事楽しい」と感じる瞬間が多いです。満員電車で暗い顔を浮かべる社会人の姿を見ながら、「仕事は辛くて嫌なものだ」と勝手に思い込んでいたのですが、社協の仕事をしてみると、心からやりがいを感じます。また、様々な分野の方と知り合うこともでき、とても良い人生経験ができています。私たちの仕事は、地域の方々から「ありがとう」という感謝の言葉をいただく機会も多いです。確かなやりがいを実感したいという方は、ぜひ名古屋市社協で頑張ってもらいたいです。



！ サポート体制・研修について

入社1年目の職員に対しては、毎月集合研修を行い、社会人として働いていく上で必要となる接遇をはじめ、本会の基礎知識を学ぶ場等を設けています。併せて、ルーキーサポーター制を導入しており、気軽に日頃の不安や悩みを相談したり、疑問を聞くことができる職員を置くことで、職場内での円滑なコミュニケーションを図れるよう支援を行っています。また、本会研修要項に基づき、毎年研修計画を定め、若手職員を対象にしたつながりづくり研修や基本研修(階層別研修)、選択研修(カリキュラム別研修)等も行い職員の育成に力を入れています。



職員を支えることは「地域福祉を支える」こと。

WORK

どのような仕事をしていますか？

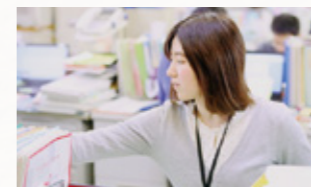
私たち総務部が行っているのは、社協で働く職員を支える仕事です。中でも私が主に担当しているのが給与関連の仕事で、職員の給与計算や社会保険関連の事務作業、健康診断の受診調整などを行っています。名古屋市社協で働く正職員は、約1,000名。全員の給与計算を私一人で担当しているため、締め日が近づいてくると忙しいですね。関係機関や各部署の事務担当への電話連絡などが中心で、基本的には外出せず1日中事務作業に没頭していることが多いです。総務部はいわば裏方の仕事です。地域とつながり、福祉の最前線で働いている職員を支えるという意識を常に持って業務に取り組むように心掛けています。



SCHEDULE

一日のスケジュール

- 08:30 出社・メールチェック
- 08:45 朝礼
部内の打ち合わせ
各担当者のスケジュール共有
- 09:00 社会保険の取得手続き等事務
- 12:00 昼休憩
- 13:00 職員の就労証明の作成
- 15:00 部内職員会議に参加
- 16:00 給与に関する事務
- 17:30 退社



TOPIC

県外出身・福祉系以外でも大丈夫？

私は三重県出身ですが、名古屋市社協を選んだのは、組織が大きい分、様々な事業に携わることができ、やりがいも大きいだろうと思ったからです。現在一人暮らしですが、名古屋での生活は快適ですし、最初は地名が分からず戸惑った程度で、不自由は全く感じません。また、私は福祉系学部出身ではありませんが、知識がないからといって引け目を感じることもないです。福祉系以外の学部から入職した方も周りにたくさんいますし、先輩たちもきちんとフォローしてくれますから心配はいりません。今は将来のステップアップのため、本会の資格取得助成制度を利用して社会福祉士の資格取得に向けて勉強中です。学びの機会がきちんと用意されているのも名古屋市社協の魅力の一つです。



MESSAGE

学生へのメッセージ

就活では、自分は何がしたいのかを見失わないことが大切だと思います。私は、高校時代から虐待などの社会問題に関心があり、最初は公務員を志望していました。ただ、公務員だと3～4年で部署を異動することが多く、福祉関連の業務を長く続けられるわけではありません。そこで、社協に魅力を感じました。社協には幅広い分野の事業があります。私は総務部に所属していますから、現場に関わる機会はほとんどありませんが、それでも同期の職員の体験談を耳にすると、メディアが伝える出来事が、それぞれの地域で実際に起きている問題なのだと改めて気付かされます。公務員志望の方も多いと思いますが、私がそうであったように「福祉に関わり続けたい」という思いがあるなら、ぜひ社協にも目を向けて欲しいです。



！ 資格取得助成制度・福祉系以外出身職員の割合等

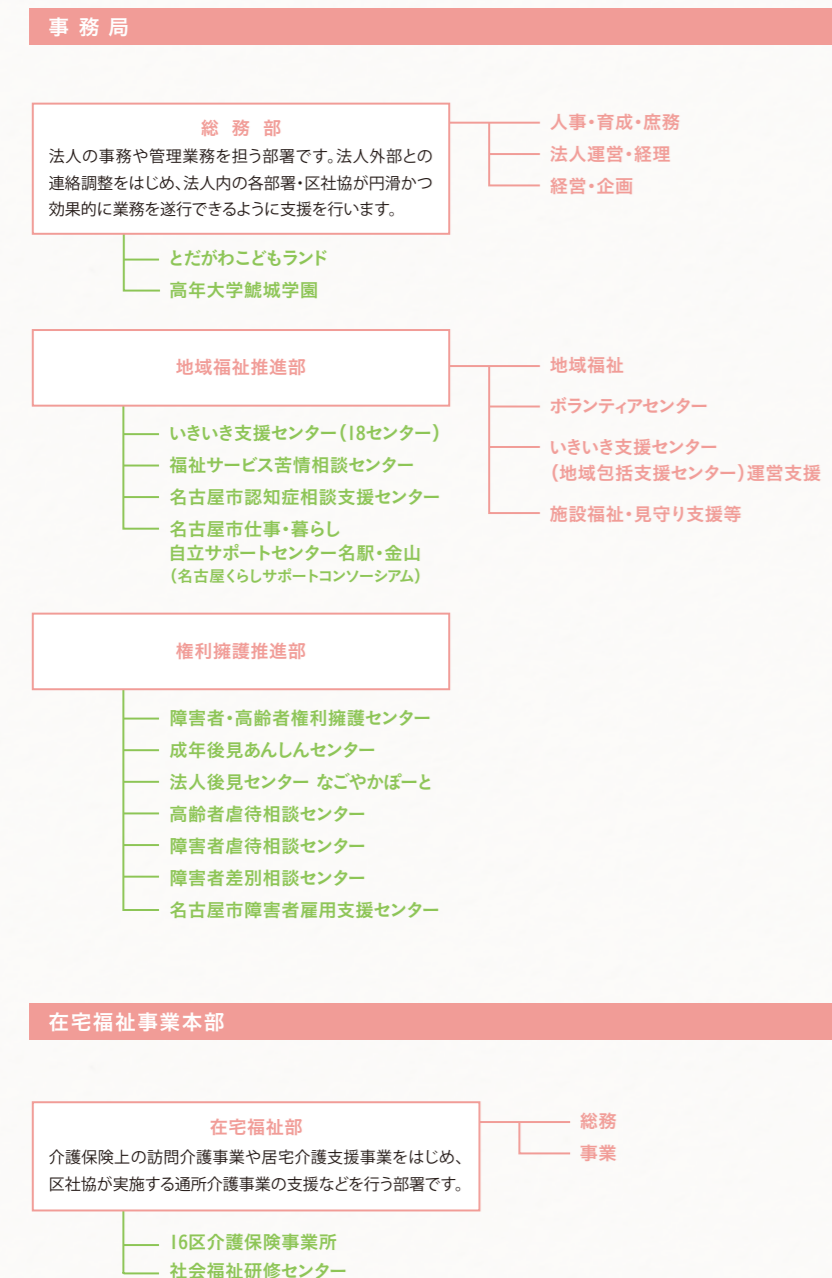
本会は、多くの社協とは異なり、総合職の受験資格に社会福祉士の資格を必須とはしていません。そのため、働いている職員の出身大学は様々であり、社会福祉系学部以外出身の先輩たちも数多く活躍しています。専門知識やスキルは、入職して実際の仕事を体験していく中で身につけていくことが可能な上、入職後、勉強して社会福祉士及び精神保健福祉士の資格を取得したいという職員を対象に資格取得助成制度（養成施設における所要経費の総額の4割から5割程度を助成）も設けており、福祉系以外の学部の人でも安心して働ける環境になっています。

※P10本会で働く総合職について参照



(所属・役職は平成30年3月現在)

組織図



地域福祉推進部

各区社協や地域福祉推進協議会をはじめ、市内の団体・施設の事業や活動が活性化するように企画、調整を行う事業部門の中核を担う部署です。



権利擁護推進部

知的障がい者や精神障がい者、認知症高齢者などの判断能力が不十分な方々が身の回りのことや財産の管理などでお困りの場合の支援や、高齢者、障がい者虐待の専門相談対応を行う部署です。



職員派遣について

名古屋市社会福祉協議会で一括採用し、各区社協等に派遣され、勤務します。

※各区社協等で独自に総合職の採用活動は行っていません。

- 16区社会福祉協議会(児童館・福祉会館)
- 名古屋市シルバー人材センター
- 名古屋市役所研修員

！異動について

原則、同一職場で3年以上勤務した職員を対象に人事異動を行っています。若手のうちから、様々な職場を経験することで、幅広い能力を取得できるように能力に応じた人事配置を行い、人材の育成・活用を図っています。(異動は名古屋市内のみ)

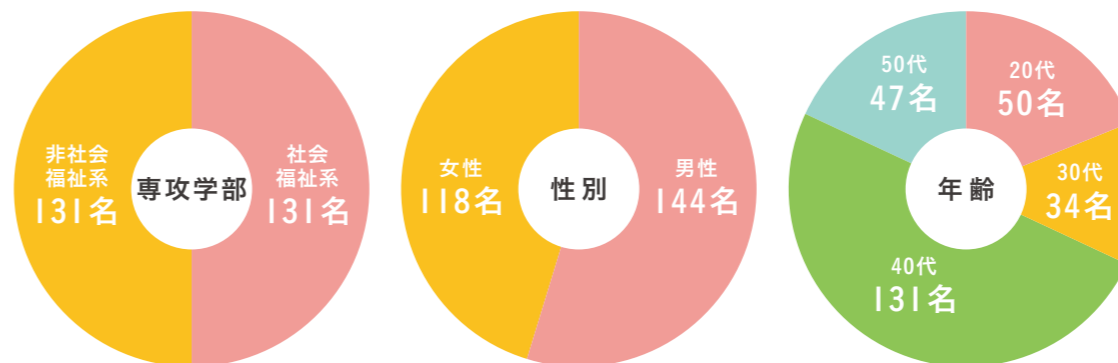
！昇任について

能力主義の徹底を図るため、次長(係長級)昇任選考試験(大卒は5年以上の勤務経験)を実施しています。職員の自己研さんの成果と職務への意欲や熱意、能力などが昇任にあたって評価されることになっています。

モデル

主事 ▶ 主任 ▶ 次長 ▶ 部長・主幹又は区社協事務局長

本会で働く総合職について



※本会では、総合職のほか、嘱託職員・専門職員等に区分される職員も働いており、全体では1,000人を超える職員が働いています。

主な採用実績

愛知大、愛知学院大、愛知教育大、愛知県立大、愛知淑徳大、金城学院大、中京大、同朋大、名古屋大、名古屋市立大、南山大、日本社会事業大学、日本福祉大、名城大、三重大、岐阜大、大阪市立大、信州大、東北福祉大、東洋大、都留文科大学、佛教大、山口県立大、立命館大、早稲田大 など。愛知・岐阜・三重県出身者を中心に、その他の地域の出身者も多くいます。

福利厚生について

衛生管理体制

毎年の健康診断及びストレスチェックの実施だけでなく、本会の安全衛生体制構築の一環として、原則月に4回臨床心理士の先生にお越しいただき、職員が気軽に悩みを話せる場所として「こころの悩みなんでも相談」を実施しています。

職員互助会

職員相互の共済や福利増進を図ることを目的とし、結婚・出産・入学等の給付金支給や住宅取得等のための資金の貸付等の事業を行っています。

なごみ会

会員相互の親睦や会員の福利増進、職場環境の向上を目的に、会員を対象として年に1度懇親会を実施しています。また、なごみ会員が参加する自主活動グループ(文化・スポーツ等に関する同好会)に対して、補助金を交付し、職員同士が楽しく交流するための支援を行っています。



職員の思い・やる気を尊重するサポート制度について

職員提案制度

事務効率や市民サービスの向上、自主財源の確保や職場環境の改善に向けて、職員からの豊かなアイデアを募集し、優秀な提案には表彰を行っています。

職員研究開発助成制度

職員の意欲や能力の向上に向けて、職員の自主的な研究開発への取組みを支援しています。また、優れた研究開発成果を組織として積極的かつ柔軟に活用し、本会事業のさらなる向上、地域社会に対しての貢献にも繋げています。

目標管理(職務状況申告)

年度当初に、職員1人1人が今年度の目標を設定し、年度の間頃と年度明けに振り返りを行い、面談等の実施を通して上司と共有します。

その他にも、職員のモチベーションアップのために、日頃の活動・実践を発表する職員チャレンジ発表会や職員表彰制度等もあります。

ワークライフバランスについて

名古屋市の子育て支援企業、女性活躍推進企業の認定を受けています。

産前産後休暇(産前・産後それぞれ8週間ずつ取得可能)や、育児休業(子が3歳になるまで取得可能)、育児短時間勤務(子が9歳になるまで取得可能)、子の看護休暇(年間5日取得可能)といった制度もあり、子育てしやすい働きやすい職場づくりを行っています。ほとんどの職員が育児休業取得後復帰し、子育てと仕事の両立を実現しています。男性職員の育児休業の取得実績もあります。

